

エコライフ・フェア2007開催の基本的な方針

エコライフ・フェア2007実行委員会

1. エコライフ・フェアとは

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開する様々な行事の中の主たる行事の一つとして1990年以来、環境省（環境庁）、関係地方公共団体、関連法人、業界団体、企業及びNGOが連携し実施してきました。ここ数年は、環境の日（6月5日）前後の土曜日、日曜日の2日間、東京・渋谷の代々木公園ケヤキ並木を会場に開催しています。

国民一人ひとりにエコロジカルなライフスタイルを広めていくことを目的として、環境問題の現状と将来を誰にでもわかりやすい形で紹介することにより、環境保全の大切さを理解してもらうとともに、環境保全活動への積極的な参加を促すことを趣旨として展開してきました。

2. エコライフ・フェア2007の開催に当たって

今回のエコライフ・フェアは、以下のような考え方を共有しつつ行います。

基本コンセプト

体感・体験を通じて、

- ・脱温暖化社会
- ・循環型社会
- ・自然環境の保全

について、「気づき」から「行動」へ導く

対象

- ・一定の関心を持ち、行動もする層
関心を横に広げることで、さらなる行動を促す。
- ・潜在的な関心はあるが、行動に移していない層
気づきを与えることで、行動へ一歩踏み出すよう促す。

方法

- ・楽しいイベントへの参加、情報発信
- ・NGO、企業、メディア、地方公共団体、国という様々な参加者による協働

以上を踏まえて、参加者が創意工夫し、柔軟に参加できるフェアとします。

3. 開催概要

タイトル	エコライフ・フェア2007
開催期日	平成19年6月2日(土)、3日(日)
会場	代々木公園 ケヤキ並木(NHKホール前)/イベント広場
主催	エコライフ・フェア2007実行委員会 (環境省、東京都、渋谷区、(独)環境再生保全機構、(財)経済広報センター、(財)水と緑の惑星保全機構、(財)日本環境協会、(財)地球環境財団、(財)環境情報普及センター、(財)自然環境研究センター、渋谷区商店会連合会、日本放送協会、共同通信社、全国地方新聞社連合会、中日新聞東京本社、NHKプロモーション)
後援(予定)	文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、 (社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟
協力(予定)	東京都教育委員会、渋谷区教育委員会、 日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、 日本生活協同組合連合会、東京都生活協同組合連合会、 東京地下鉄(株)、東京急行電鉄(株)、京王電鉄(株) グリーン購入ネットワーク
事務局	(財)水と緑の惑星保全機構
予想入場者数	5万人
入場料	無料

4 . 内容

(1) 会場の構成

企業、NGO等の出展と、主催者企画（出展及びステージ）からなります。内容に応じて、一定のゾーニング（昨年度同様に温暖化防止ゾーンを予定）を行います。出展ブースが具体化してきた段階で、柔軟に組み立てます。

なお、環境にやさしい商品やエコライフ推進を訴えるグッズ等の展示・販売も行うことを可能とします。

また、フェア全体として、3R（リデュース、リユース、リサイクル）及び省エネを図り、環境に配慮した取組を行います。

(2) 構想しているコーナー・イベント

環境省エリア

環境に関する施策、活動等を紹介するエリア。展示やイベント等を通じ、地球温暖化を防ぐための対策や、循環型社会形成推進のための取組などをわかりやすく紹介し、環境問題について考えてもらう機会をつくるとともに、自ら取り組むきっかけづくりの場となる企画を検討します。

ステージ

一般の来場者にわかりやすくエコライフを伝えるために、著名人のエコライフトークや音楽演奏などを行い、より身近に環境問題を考えるきっかけづくりの場や、より関心のある層向けに、理解を深めるシンポジウム・セミナー等を提供します。

企業・団体出展エリア

エコライフの推進に賛同し、取り組みを行っていただいている企業・団体が出展するエリア。それぞれの企業・団体の創意工夫により、多様な出展・イベントが実施され、参加者にさまざまな気づき・行動への意欲を得てもらうことが出来ることを期待しています。

NGOエリア

生活・ライフスタイルに関わる課題に取り組んでいるNGOに出展いただくエリアです。NGOの視点から展示、企画、ワークショップを展開していただき、参加者に多様な視点からの気づき、行動への意欲を持っていただくことを期待しています。

飲食物の販売エリア

ご家族づれの方々にも楽しんでいただけるよう、飲食物の販売コーナーを

設けます。素材からエコロジーの意識を持ってもらうオーガニック系の素材を中心とした飲食の提供を行う予定です。また、洗浄カーを準備し、リユース食器、リユースカップを使用し、来場者が洗浄、返却するディッシュ・リユースのシステムの実践など、エコライフ・フェアの名にふさわしいものになりたいと考えています。

問い合わせ先

(財)水と緑の惑星保全機構

担当者 田上

T E L 03-3433-4454

F A X 03-3433-4510

環境省広報室 担当者 前田、浜地

T E L 03-5521-8213

F A X 03-3502-0308